

平成23年5月
四国電力株式会社

伊方3号機プルサーマルの運転実績について

当社は、昨年2月、伊方3号機にMOX燃料を装荷した後、定格熱出力で問題なく運転していたが、本年4月29日に定期検査のため運転を停止した。

昨年8月までの運転状況について、MOX燃料炉心の安全性に問題のないことおよびMOX燃料炉心は適切に設計できていることを、昨年9月にご報告した。その後の運転状況は以下のとおりである。(別紙参照)

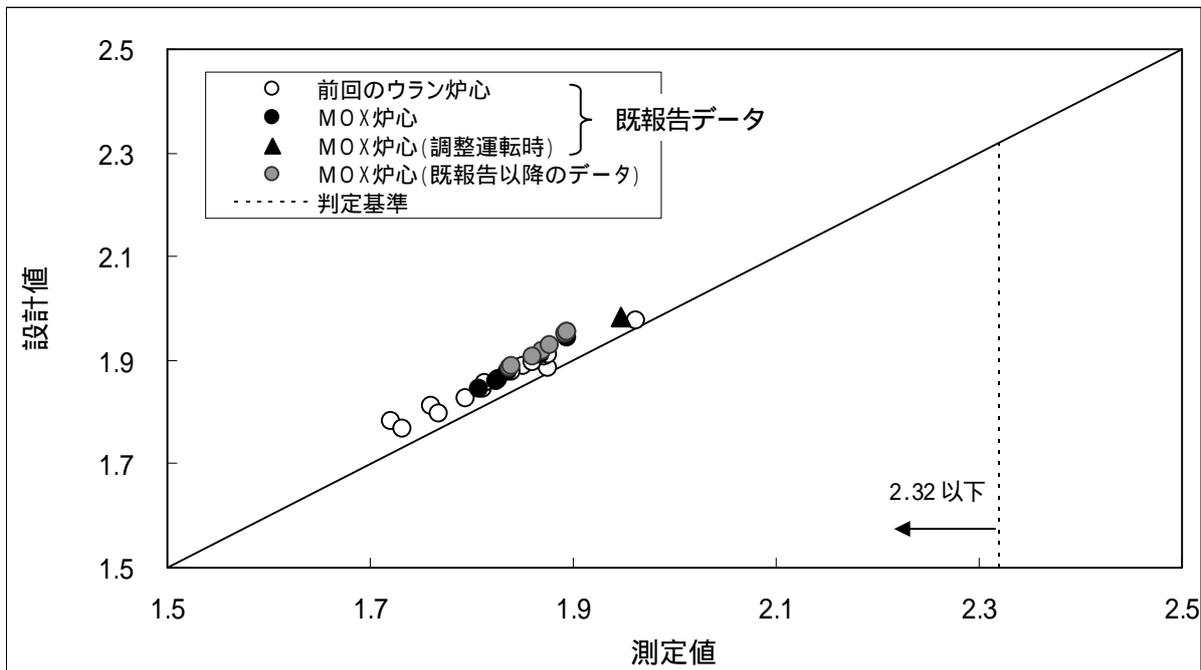
- ・ 定格熱出力運転における保安規定に基づく毎月の確認項目の結果が、運転上の制限を満足しているとともに、設計値と測定値に有意な差はないことから、MOX燃料炉心の安全性に問題はない。
- ・ MOX燃料炉心における当該確認項目の設計値と測定値の差は、過去のウラン燃料炉心と同等であることから、MOX燃料炉心は適切に設計できている。

(確認項目)

- (1) 熱流束熱水路係数
- (2) 核的エンタルピ上昇熱水路係数
- (3) 臨界ボロン濃度

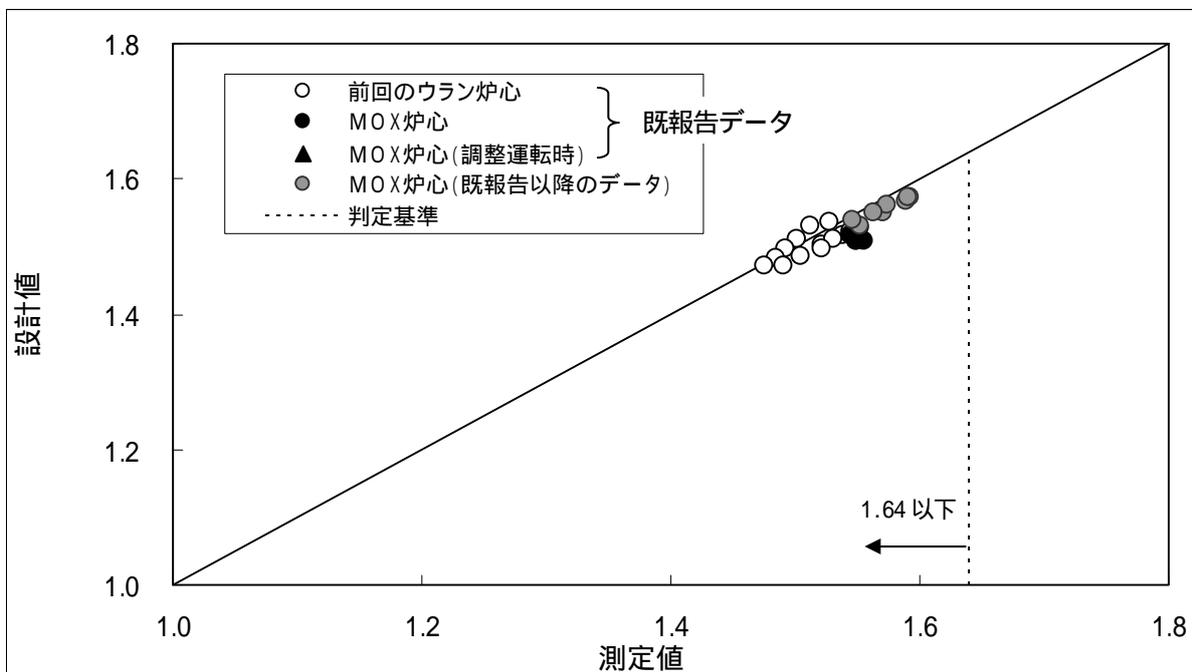
以上

(1) 熱流束熱水路係数



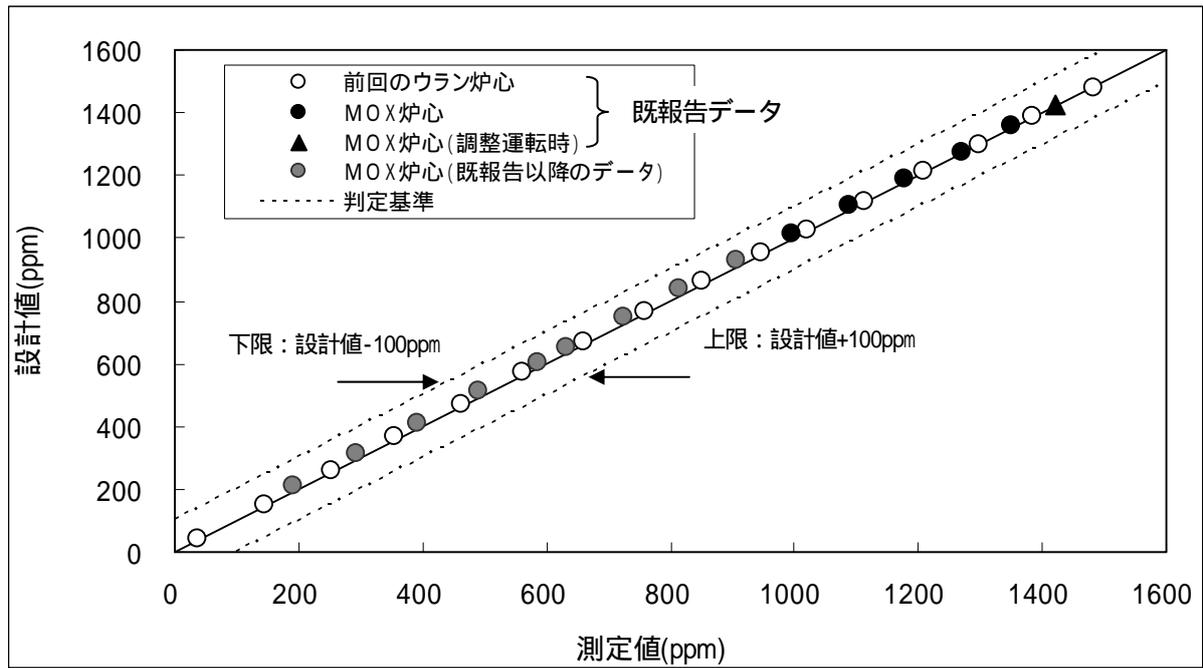
熱流束熱水路係数とは、炉心内における局所的な最大出力と平均出力の比。

(2) 核的エンタルピ上昇熱水路係数



核的エンタルピ上昇熱水路係数とは、炉心内における燃料棒の最大出力と平均出力の比。

(3) 臨界ボロン濃度



臨界ボロン濃度とは、原子炉が臨界を保っているときのボロン濃度。